

Masayuki Fuchigami

EUROPE

THE CONTEMPORARY

ARCHITECTURE

GUIDE VOL. 2

GERMANY

NETHERLANDS

話題の最新作がぎっしり!

『ヨーロッパ建築案内』

第2弾

この1冊で古典から現代まで必見の665作品を紹介。
主要都市MAP・都市別建築リスト付。

中欧編：ドイツ・オランダ・ベルギー・ルクセンブルク・
スイス・リヒテンシュタイン・オーストリア

淵上正幸=著 ギャラリー1間=編 定価=本体 2,667円+税

BELGIUM

GALLERY 1A



11 DIETIKON RECREATION CENTER

Holzmatzstrasse 6, Dietikon, Switzerland

ディーティコン・レクリエーション・センター
ディーティコン/1991

Peter Vetsch
ペーター・フェッシュ

Dietikon

建築空間と自然がシームレスに連結したレジャー施設

ペーター・フェッシュには、アース&ケイブ（地球&洞窟）建築家の肩書きがついている。彼の作品はすべて地中埋設か、屋上に盛土して植栽を施す「アーステクチュア」。土に深いかかりをもつ彼の作品は、加えてその形状が非常に有機的である。

フェッシュは、スイスのザンクト・ガレン州ザックス生まれの今年56歳。高校卒業後、農業企画課で土木技術の修業を積む。その後、デュッセルドルフの国立アート・アカデミーで建築を学ぶといった変わった経歴をもっている。

チューリヒに隣接するディーティコンの街には、もともとレジャー施設があったが、そこに含まれる教室や家畜小屋は老朽化が激しく、建て直しが迫られていた。それが災害時のシェルターとしても機能する多目的な建築として再建されることになった。

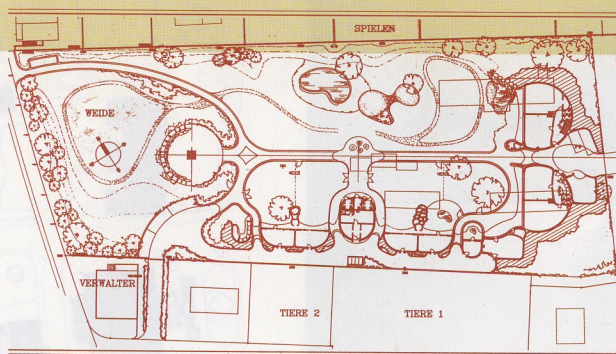
約1億5,000万円の予算が計上されたフェッシュの「ディーティコン・レクリエーション・センター」は曲面壁を多用し、屋上を緑化した有機的な建築。フレデリックJ.キースラーの「エンドレス・ハウス」のように、網状のメタルの上に吹付けコンクリートで形態化した作品だ。キースラーはその後、「本の神殿」のような曲面壁の端正な作品をつくっているが、未完とはいえ「エンドレス・ハウス」の工法やコンセプトはフェッシュに多大な影響を与えた。

フェッシュの「ディーティコン」はまた、同じスイスの建築家、ダニエル・グラタルウプの「ヴィラ・ダニエル」のような自由な可塑的建築とも同類だし、遠藤秀平がコルゲート鋼板を自在に操ってつくった「SPRINGTECTURE播磨」にも、材料こそ異なるが、通底しよう。

このレジャー施設は、南棟が動物飼育、東棟が趣味の工房、北側が遊びの領域、そして西側が文化的な活動の場と分割されている。東棟には地下室がつくられており、316人分の災害時シェルターとして市民救護の機能を発揮する。緑に包まれた建物は、外部からの騒音・温度変化を遮断する高断熱建築となっている。自然とシームレスに連結された建築空間は、動物にとっても居心地がよさそうだ。



1 東棟から南棟を見る。有機的な形をした家畜小屋が連なる。左手に養鶏小屋が見える。前面には池のある小動物公園がある



Plan

フレデリックJ.キースラー

Frederick John Kiesler/1890-1965

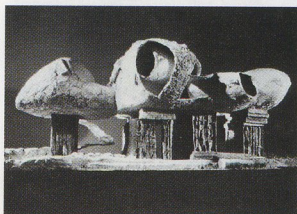
1923年デ・スティールに参加し、テオ・ファン・ドゥースブルク、ピエト・モンドリアンらに接する。エンドレス劇場案を発表。1926年よりニューヨークに住み舞台デザインなど多領域の仕事を展開。1965年「本の神殿」を完成。

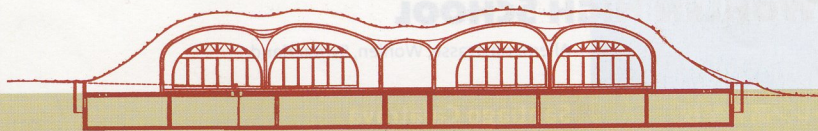


エンドレス・ハウス（プロジェクト）

F.J.キースラー/1960

1925年の「エンドレス劇場」がベース。長方形を拒否したキースラーの理論は、R.シュタイナーによる「ゲーテアナム」のユウリズミ（表現主義）やH.フィンステリンの幻想的なスケッチに見られる有機的な流動性が特徴だ。





2 東横キャンピー。柱と庇・建物が一体となっている
3 東棟正面外観。

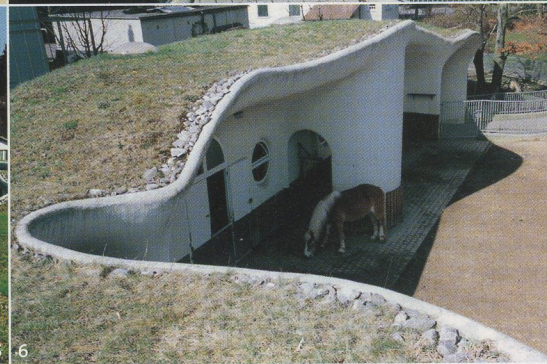


3



4

4 家畜小屋前の池を見下ろす。小さな動物園だ
5 屋根には芝生が十分植え込まれて断熱効果抜群
6 馬も建物が気に入った様子

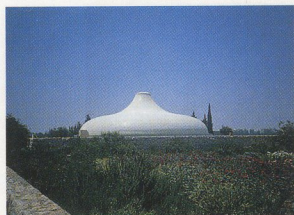


5 6

本の神殿

F. J. キースラー／エルサレム／1965

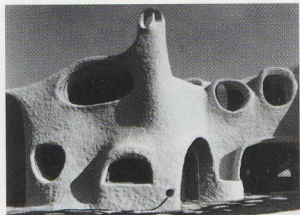
キースラー唯一の完成した建築作品。死海のほとりから出土した遺物の写本を納めた博物館。中央にトップライトを頂く逆さ漏斗形の外観が特徴だ。内部は囊のようなストライプがついて幻想的な空間。



ヴィラ・ダニエル

D. グラタルウプ／ジュネーブ／1972

レマン湖の湖畔に横臥する有機的な形態の住宅。フェッシュの作品群と同様、吹付けコンクリートを用いて可塑性を追求した作品。軟体動物のような形態は、フェッシュの作品に近似するが、屋根は芝生葺きとしない点が異なる。



SPRINGTECTURE 播磨

遠藤秀平／兵庫／1998

播磨科学公園都市につくられた管理者休憩室とトイレ施設。コルゲート鋼板の新しい可能性を引き出す遠藤のデザインは、長く連結された1枚のコルゲート鋼板を連続的に用いてメビウスの輪のように内外が反転する。

